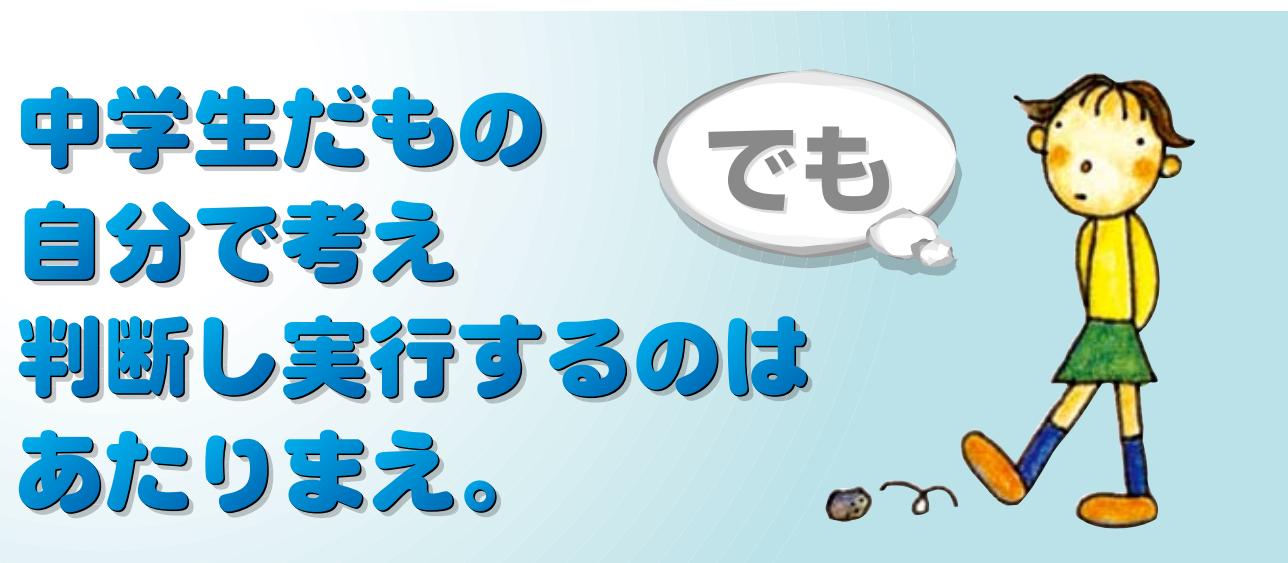




自分のことは、だれにも干渉されず自分で決めたい——
毎日毎日、いろいろなことを
自分はどのように判断して実行しているのか?
自分を見つめてみながら
これからのあるべき姿を考えてみませんか?

ある選択をするということは、その選択によって生まれるはずのマイナスを
すべて背負うぞ、ということでやんしょ。 井上ひさし『青葉繁れる』



あなたの中のどこかに「まわりの意見に流される自分」がかくれていませんか?

自分を見つめて

年 月 日

自分を見つめて

年 月 日



こんな自分がいませんか?



だれかにまかせてしまえば、ラクチンだ。

逃げることができるから、知らんぶりができるから。

——でも

もう、だれにも指図されたくない。とやかく言われたくもない。
自分で決めたいことだつていっぱいある。

だから本当はサヨナラしたいんだ。

はじめから逃げ道を考えている
そんな自分と。

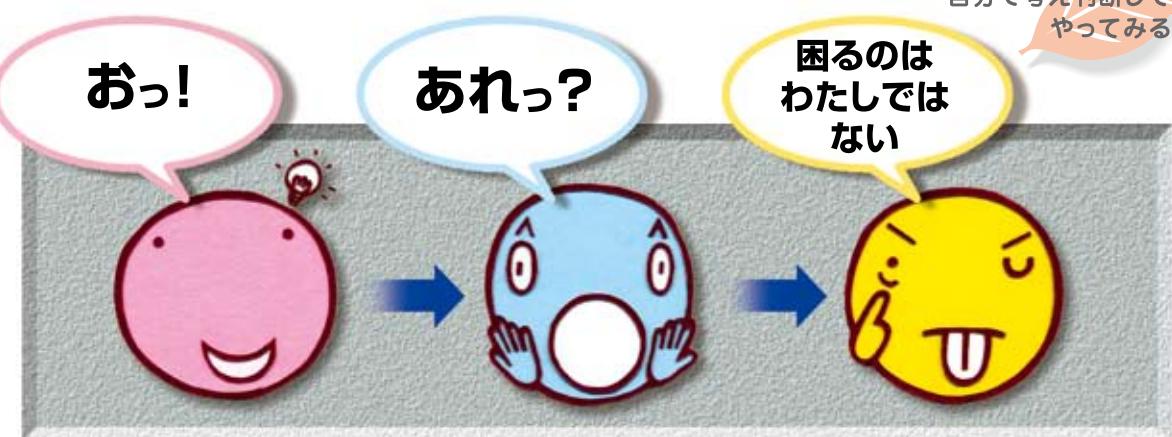
中学生だもの
自分がすることは
結果まで深く
考える。



あなたの中のどこかに「物事を深く考えない自分」がかくれていませんか？

自分を見つめて
年 月 日

自分を見つめて
年 月 日



その考え方、浅くはないですか？

行動する前にじっくり考えているだろうか?
その動機が自己中心的になってしまふことがないだろうか?
よく考えたつもりでも、結局自分のことしか考えていない…



自分は、まわりの意見に左右されないと胸を張るなら
それは、自分にとっても他の人にとってもよいことだといえるか?
自己主張のつもりが「自己チュー」だなんて、カッコわるい。

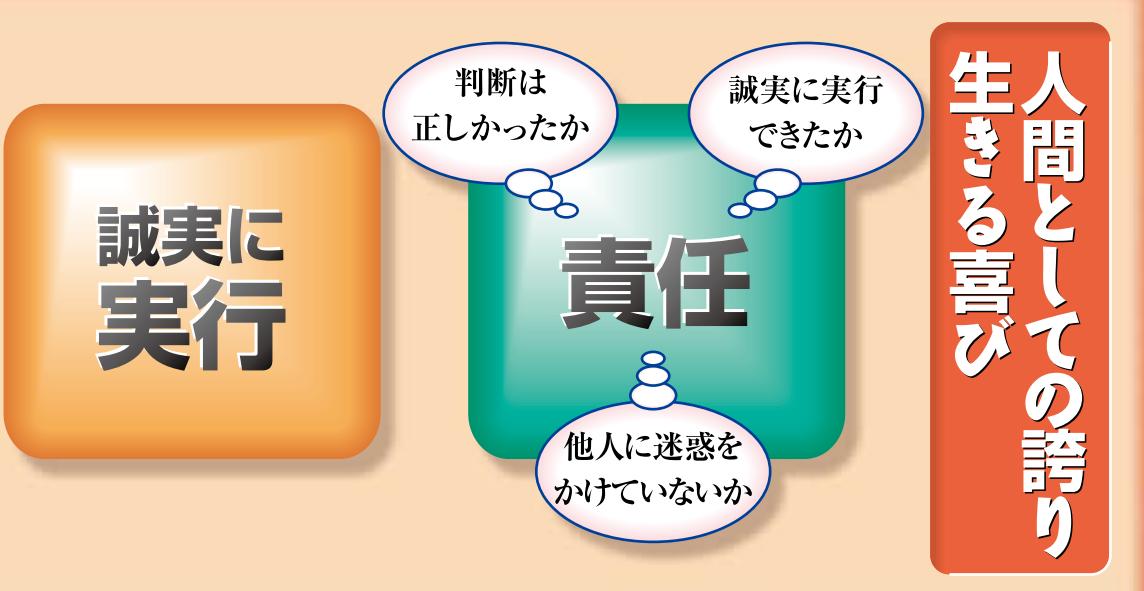
——判断し、実行をするとき
よく考え、深く思いをめぐらすことからはじめよう。



自律



自律について考えるとき反対の「他律」についてイメージすればよい。
他律とは、他の人の言いなりになりコントロールされる、ということ。



人間としての生きる喜びと誇り